

# 2021年度 支援事業 活動報告

## 第12号 核兵器の廃絶をめざす日本法律家協会

### 活動報告

企画名：意見交換会「朝鮮半島の非核化のために」

開催日時：2021年11月13日（土）14：30～17：30

開催形式：全体オンライン（ZOOM）

主催者：核兵器の廃絶をめざす日本法律家協会（略称：日本反核法律家協会）

参加者数：29名（33名）※（）内は申込者数

企画内容：

#### 1 [各パネリストの報告概要]

##### ① 市場淳子さん（「韓国の原爆被害者を救援する市民の会」会長）

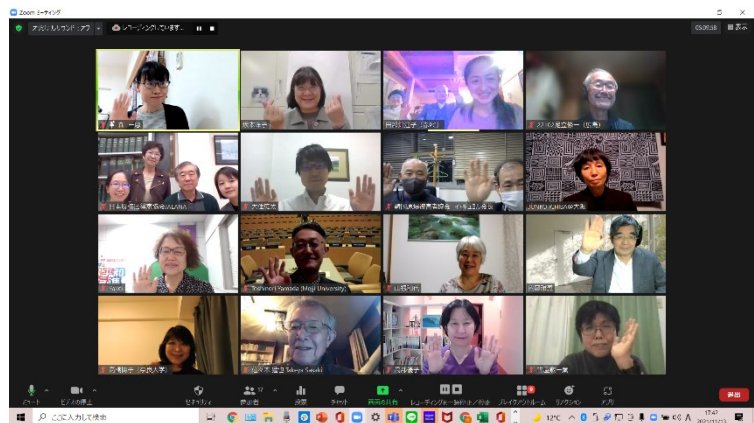
韓国原爆被害者協会・活動現況とその思い：韓国原爆被害者協会は、(1) 日本政府に対し①植民地支配下における原爆被害に対する謝罪と賠償②被爆者援護法の平等適用を求めるとりくみ (2) 韓国政府に対し①日韓請求権問題での協議再開②「韓国人原爆被害者支援のための特別法改正」③被爆1世、2世、3世の遺伝子検査を求めてきた (3) アメリカ政府に対し①「対米賠償請求・民衆法廷」の準備②米国大統領への書簡送付を行ってきた。今後の課題として、日韓請求権協定でも未解決の原爆被害・慰安婦・サハリン残留問題について植民地支配を行った日本政府からの謝罪と賠償を求めため、日韓両政府の交渉を求めているが、進展していない状況にある。

##### ② 崔鳳泰さん（韓国弁護士）

朝鮮戦争終結に後ろ向きな日本政府。北朝鮮の核開発と拉致問題未解決を口実にするが、敵対・緊張関係を解くことが非核化の道であり、平和なくしては人権問題も解決しない。日朝国交正常化と並行して、韓日朝が足並みをそろえて核兵器禁止条約の署名・批准にとりくむべきだ。このとりくみを進めるうえで、日本政府は国交正常化前でも直ちに在朝被爆者に対し被爆者援護法を適用することが信頼構築にとって重要になる。

##### ③ 坂本洋子さん（日朝友好女性ネットワーク代表）

朝鮮被爆者問題のとりくみに関する経緯：1990年代半ばから2000年にかけ、日朝間では政府・民間を通じて在朝被爆者問題について協議が行われてきた。2001年3月には「在朝鮮被爆者実態調査代表团」（外務省・厚労省職員、医師）の訪朝が実現したものの、その翌年には拉致問題により動きが止まる。北朝鮮側は日本に対する不信を募らせている。2021年には茂木外務大臣（当時）が在朝被



爆者問題の解決に前向きな答弁を行い、「沖縄の風」が政府に対し在朝被爆者問題の解決を求める要請文を提出している。

## 2 [コメンテーターのコメント概要]

山田寿則氏（明治大学法学部兼任講師）より、パネリストの報告を受け、核兵器禁止条約(TPNW)のヒバクシャ援助規定の特徴について触れながら、日韓・日朝の現在の問題について問題提起があった。

## 3 [パネルディスカッション概要]

足立修一弁護士をコーディネーターとして、在韓・在朝被爆者のおかれている状況を確認しつつ、事態の改善・解決に導く方向を模索する議論が行われた。また会場からの発言を受けた。

尚、意見交換会冒頭には、日本原水爆被害者団体協議会田中熙巳代表、並びに韓国原爆被害者協会イ・ギョル会長からご挨拶をいただいた。

### 会計報告

収入の部		
科目	金額	備考
核なき世界基金支援金	230,000	
日本反核法律家協会一般予算より繰り入れ	10,660	
<b>収入合計</b>	<b>240,660</b>	(A)

支出の部			
科目	金額	備考	
報告者・コメンテーター・モデレーター謝礼	市場淳子さん	50,000	2021/11/17 送金
	坂本洋子さん	50,000	2021/11/22 送金
	崔鳳泰さん	50,000	※韓国への送金方法につき検討中
	山田寿則さん	30,000	2021/11/24 送金
	足立修一さん	30,000	2021/11/18 送金
スタッフ謝礼	高部優子さん	10,000	2021/11/17 送金
	田部知江子さん	10,000	2021/12/2 現金支給済
	井上八香さん	5,000	2021/11/22 現金支給済
	田中恭子さん	5,000	2021/11/22 現金支給済
雑費	送金手数料	660	※韓国への送金手数料を除いた額
<b>支出合計</b>	<b>240,660</b>	(B)	

差引合計額 ((A) - (B))

0円